

イントロダクション

ほどほどの容貌と才能、そして多少以上の予期せぬ偶然に支えられ、私は15分ほどの名声を、なんとか幸運にも半世紀以上の名声に広げることができました。ほとんど全てのエンタテインメントのメディア、舞台や映画からラジオそしてテレビ、の一演技者として、私は世界中で冒険の生涯を楽しみ、ずらりと並んだすばらしく才能豊かな芸術家たちと仕事をともにしてきました。その過程で、私は沢山の有名な人々、そして何人かの評判の悪い人々と出会いました。そしてこの本のページに彼らの何人かの名前を記すことにためらいはありません。私の同僚で友人である故デヴィッド・ニーブンの言葉に言い替えると「もし君がロバート・ケネディと昼食をともにしたのなら、ウェイターについても書いたらどうだい？」

しかし、私はこの本を単なる名前を記すだけのこと以上のものにするように努めました。

この本が、一人のショービジネスに根を下ろした人間の、しかし政治や国際関係というより広い世界にまで視野を広げた男の、様々な出来事に富んだ人生の興味深いスケッチであると思ってくださいることを願っています。私は充分幸いなことに、私の世代におけるいくつかの重要な出来事、ハリウッドのブラックリストから市民権をめぐる戦い、ベトナム戦争反対運動、1968年の混乱の大統領選運動、ソビエト軍戦車によるチェコの民主主義の破壊、そしていまだに未解決のロバート・F・ケネディ暗殺の謎などと、少なくとも一時的につながりがあったり、窓越しに眺めてきた経験があります。この本の読者はきっと、私の俳優の軌道を逸した行為から集められた軽いエンタテインメントとともに、必ずや、一つ、ふたつ、この時代の出来事の新たな見解に出会うことでしょう。

お分かり頂けると思いますが、私の人生を通してずっと抱えているテーマは、心を奪われる続けるあの究極の素晴らしいシェークスピア作品の役、そう、メ

ランコリックなデンマーク人—ハムレットです。各章の表題はこの偉大な劇から引用されています、私にとって、ほとんどどんな機会にも適切な知識の泉として存続し続けています。私の観客の中にいる識者のみなさんに、その巨匠から拝借した一部の言葉を私の粗末な作品の花飾りとするをお許し頂きたいと思います。

ある幸運な人生